

個人質問

議会事務局
処理欄

令和6年 5月20日 8時30分 受付
質問 順位 第13番

武豊町議会議長 青木 信哉 殿

武豊町議会議員 松本 万之

一般質問の通告について

令和6年第2回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
<p>1. 子ども会入会児童数減少対策は</p>	<p>【趣旨説明】子ども会は、地域を基盤とした集団による“遊びを中心とした様々な豊かな体験活動”を通して子ども達の健やかな成長発達を促すとともに、「子ども達の夢」と「生きる力」を育む活動集団でもあり活動の幅は広く、地域の自然、歴史、文化や様々な地域の人々とのふれあいの中で社会性を身につけることができます。特に異年齢との仲間で、集団の中での楽しさや喜びをともにわかちあうことなどにより、豊かな人格を築くとともに、各種の体験活動を企画するなど、自主性も育むことができます。</p> <p>また、子ども会活動がより活発になることは、地域で次代を担う子どもを支えて育てる機会がより増えていき、非行防止にも効果は絶大でもあると考えます。そして地域住民が子どもも大人も皆がつながり、その結果社会的な役割を担うことになっていき、「地域共生社会の実現」への一端として、子ども会の活動の推進は大変意義深い活動と捉えています。</p> <p>しかしながら数年前より、武豊町子ども会育成連絡協議会への加入児童数の減少や活動を停止される団体も出てきています。出生数も年々減少している事に伴い、子ども会組織の弱体化や親御さんの都合などで入会出来ないとも聞く機会が多々あります。このような状況を踏まえると今後、この団体組織そのものの存続が危ぶまれていく気がしてなりません。ここ数年は、毎年のように育成連絡協議会の場で入会児童数減り続けているとは言う発言はあるものの、具体的な対策や対応はどのように打たれているのでしょうか。</p> <p>そこで以下の質問をします。</p>
	<p>【質問事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 子ども会育成連絡協議会の加盟団体数と児童数のここ10年の推移は ② 子ども会への加入児童が年々減少していく要因をどのように考えているのか ③ 役員の業務内容の見直しと負担軽減への対策や「役員」からの名称の変更はできないか ④ 広報での掲載やチラシ（POP）の配布、入会への説明会の開催などでもっと入会を呼びかけることはできないのか ⑤ 絆予算に66万9千円計上されているが、具体的にどのようなことを考えているのか